

令和2年11月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	令和2年11月25日(水) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第1委員会室		
出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	大庭	文武
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子
	教育委員	小瀬川	喜井
事務局出席職員	教育部長	石亀	純悦
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	中村	雅臣
	学校教育課長	大館	秀光
	教育指導課長	南館	義孝
	社会教育課長	館合	裕之
	是川縄文館副館長	松橋	広美
	総合教育センター所長	竹花	和人
	こども支援センター所長	大坂	吉弘
	図書館長	田茂	隆一
	博物館長	小保内	裕之

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和2年11月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

本日は議案の提出がありませんので、報告事項にまいります。

はじめに、「冬季企画展 是川遺跡の注口土器について」事務局からの説明をお願いします。

【冬季企画展 是川遺跡の注口土器について】

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見・御質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

この展示を企画するに当たり、御配慮いただきたいことをお話しさせていただきます。この注口土器は、東北地方を中心に出土されていたかと思えますけれども、そのことに焦点を当てたということは大変興味深く面白い企画であると思えます。このような企画を通して、見にいच्छやった方に何を伝えたいのか、どんなことを考えてもらいたいのかという視点が大切なことかと思えます。例えば、なぜ注口土器は、東北地方を中心に作られたのか、他の遺跡と比べて是川遺跡の注口土器にはどんな特徴があるのか、また、一般的には注口土器はお祭りに使われたり、お酒を注いだりということに使われていたかとは思いますが、用途は何であったかといったことが、この企画に反映されるようお願いいたします。泉山兄弟の功績に敬意を表しながら、多くの皆様が深い興味を持ち、是川縄文館においでいただけることを大いに期待しております。

(松橋是川縄文館副館長)

ありがとうございました。現在、担当が一生懸命準備を進めておりますので、今回いただいた意見を踏まえ、企画に反映させていきたいと思えます。

(伊藤教育長)

そのほか、御意見・御質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

〔なし〕

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(築瀬委員)

11月18日をもって学校の計画訪問が終了しました。今年度はコロナ渦の中での計画訪問実施となりましたが、私も10月から11月にかけて6校訪問させていただきましたので、その中で感じたことを述べさせていただきます。

一つ目は、どの学校においても授業の充実がよく図られており、例年よりも力が入っているなど感じました。特に市教育委員会が重点として取り上げている「特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり」については、どの学校においても意識して授業づくりが行われておりました。その中でも先生方は、子どもたちに分かりやすい授業づくりを心掛けており、授業の流れが分かる板書構造、分かりやすい具体的な発問、明確な指示であったりと、分かりやすく細かく砕いて授業をしているということが非常に印象に残っています。また、子どもたちに対するこまめな声かけは当たり前のことではあるのですが、このコロナ渦の中で特に意識されているのかなとも感じ、学校全体で授業づくりに取り組んでいるという印象を強く持ちました。

二つ目は、授業の中に積極的に対話や話し合いが取り入れられており、授業の活性化を図ろうとする意欲がとても感じられました。このようなことは、密にならないように敬遠されがちですが、新型コロナウイルス感染予防に気を遣いながらも、授業の充実を目指す意識、意欲が感じられ、大変嬉しく思いました。授業の狙いだけを達成するのではなく、話し合いの中から感じることでできる充足感や成就感、絆といったものも大切にしているように感じました。子どもたちは新型コロナウイルスによる様々な制限によって、見えないところでストレスを溜めている可能性もあります。また、近年言われている人間関係の希薄化や連帯感の弱体化の進行は、私も感じておりますけれども、そういった部分にも良い影響があると思いますので、このような取組は大変心強く思っています。新学習指導要領でも示されておりますが、「対話的な学び」とは、少し簡単に表現すると、人と繋がりながら学ぶことだと思いますので、対話するということの大切さを感じております。

三つ目は、先生方の教材研究の深まりをすごく感じました。先生方は、このコロナ渦の中でも子どもたちに何ができるかを考え、指導や支援の手立てをよく工夫されておりました。それに応えるように子どもたちも明るくて、先生方と一緒に授業を楽しむといった授業が多かったように感じています。暗い気持ちになることが多い昨今ですが、純粋に救われるような気持ちになりました。教育委員会としても、このような学校の取組をしっかりと認めて、励ましていくことが必要だと改めて感じました。

どの学校も工夫しながら頑張っているのですが、計画訪問を通して特に印象的だったのは、学校に笑い

と明るさを溢れさせてあげたい、そして、子どもたちの自己実現が図られるようにしてあげたいという先生方の温かい気持ちでした。校長先生はじめ、教職員の皆さんの意欲的な前向きな姿勢に感心するとともに、頭が下がる思いであります。消極的になりがちな今般だと思いますが、このような積極的な努力というものを評価してあげて応援していきたいと感じております。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか何かございませんか。

[なし]

閉 会

これもちまして令和2年11月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後1時59分閉会)